
平成22年第6回玖珠町議会定例会会議録(第1号)

平成22年12月6日(月)

1. 議事日程第1号

平成22年12月6日(月) 午前10時開議(開会)

- 第1 会議録署名議員の指名
 - 第2 会期の決定(議会運営委員長報告)
 - 第3 議長の諸般の報告
 - 第4 議案の上程(議案第75号から議案第85号)
 - 第5 町長の諸般の報告並びに提案理由の説明
 - 第6 請願並びに陳情の上程(請願2件、陳情4件)
 - 第7 委員会の継続審査結果の報告並びに委員長報告に対する質疑
-

1. 本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
 - 日程第2 会期の決定(議会運営委員長報告)
 - 日程第3 議長の諸般の報告
 - 日程第4 議案の上程(議案第75号から議案第85号)
 - 日程第5 町長の諸般の報告並びに提案理由の説明
 - 日程第6 請願並びに陳情の上程(請願2件、陳情4件)
 - 日程第7 委員会の継続審査結果の報告並びに委員長報告に対する質疑
-

出席議員(16名)

1 番	佐藤左俊	2 番	尾方嗣男
3 番	菅原一	4 番	柳井田英徳
5 番	工藤重信	6 番	河野博文
7 番	高田修治	8 番	宿利俊行
9 番	松本義臣	10 番	清藤一憲

11番	江藤 徳美	12番	秦 時雄
13番	日隈 久美男	14番	後藤 勲
15番	片山 博雅	16番	藤本 勝美

欠席議員（なし）

職務のため議場に出席した者の職氏名

事務局 長	小川 敬文	議事係 長（書記）	小野 英一
-------	-------	-----------	-------

地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

町 長	朝倉 浩平	副 町 長	太田 尚人
教 育 長	本田 昌巳	総 務 課 長	松山 照夫
財 政 課 長	帆足 博充	地域力創造課長	河島 広太郎
税 務 課 長	帆足 一大	福祉保健課長	日隈 桂子
住 民 課 長	横山 弘康	建設課長兼 公園整備室長	梶原 政純
農林業振興課長兼 農業委員会 事務局 長	宿利 博実	商工観光振興 室 長	河島 公司
水 道 課 長	村口 和好	会計管理者兼 会 計 課 長	麻生 太一
人権同和啓発 センター所長	飯田 豊実	学校教育課長	穴本 芳雄
社会教育課長兼 中央公民館長	大蔵 順一	学校教育課参事兼 学校給食センター所長	野田 教世
わらべの館館長	中川 英則	行 政 係 長	石井 信彦

上 程 議 案

議案第75号	玖珠町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定について
議案第76号	公益的法人等への玖珠町職員の派遣等に関する条例の制定について
議案第77号	玖珠町ふれあい福祉バスの設置及び管理運行に関する条例の一部を改正する条例について
議案第78号	玖珠町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について
議案第79号	町道路線の廃止について

- 議案第80号 町道路線の認定について
議案第81号 平成22年度玖珠町一般会計補正予算（第3号）について
議案第82号 平成22年度玖珠町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について
議案第83号 平成22年度玖珠町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）について
議案第84号 平成22年度玖珠町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）について
議案第85号 平成22年度玖珠町水道事業会計補正予算（第2号）について
-

午前10時00分開議(開会)

○議長（藤本勝美君） おはようございます。

開会に先立ちまして、傍聴される皆さんにお願いします。

会議中は静粛に願います。

なお、会議中の言論に対し、拍手や可否表明などの言動は固く禁じられております。

また、会議の傍聴規則第7条並びに第9条の規定により、写真撮影やカセットテープの使用、携帯電話の持ち込みは禁止されていますので、ご協力願います。

ただ今の出席議員は16名です。

会議の定足数に達しております。

地方自治法第113条の規定により、平成22年第6回玖珠町議会定例会は成立しました。

よって、ここに開会を宣言し、直ちに本日の会議を開きます。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（藤本勝美君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第120条の規定により議長において

1番 佐藤左俊君

8番 宿利俊行君

の2名を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（藤本勝美君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

議会運営委員会委員長に委員会協議の結果について報告を求めます。

議会運営委員会委員長清藤一憲君。

○議会運営委員長（清藤一憲君） 皆さんおはようございます。議会運営委員会の協議結果についてご

報告いたします。

平成22年第6回玖珠町議会定例会の開会にあたり、去る11月30日議会運営委員会を開催いたしました。今期定例会に上程されます議案につきまして、執行部の出席を求め、概略の説明をいただき、会期日程並びに議案の取り扱いについて慎重に協議を行いました。

会期日程につきましては、お手元にあらかじめ配付してあります日程表のとおり、本日12月6日から12月17日までの12日間としたいと思います。

今期定例会に上程されます議案は、条例の制定案件2件、条例の一部改正案件2件、町道路線の廃止案件1件、町道路線の認定案件1件、平成22年度一般会計補正予算案件1件、平成22年度特別会計補正予算案件3件、平成22年度水道事業会計補正予算案件1件の11議案と、請願2件、陳情4件であります。なお、会期中に、追加議案として契約案件の上程が予定されている旨の報告がありました。

次に、本定例会の一般質問者は、9名であります。したがって、一般質問は、13日に5名、14日に4名の2日間で行いたいと思います。

どうか、本定例会の慎重なるご審議と議会運営に格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。議会運営委員会の報告を終わります。

以上です。

○議長（藤本勝美君） お諮りします。

ただ今、議会運営委員長より委員会協議の結果について報告がありましたが、今期定例会の会期は、本日12月6日から12月17日までの12日間といたしたいと思います。異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤本勝美君） 異議なしと認めます。

よって、今期定例会の会期は、本日12月6日から12月17日までの12日間と決定いたしました。

日程第3 議長の諸般の報告

○議長（藤本勝美君） 日程第3、議長の諸般の報告を行います。

去る10月20日、都道府県会長会議が東京で開催され、第54回町村議会議長全国大会に向けた関連議案3件の決定と緊急経済対策や今後の地方主権改革の推進などに関する12項目の報告と町村議会の制度、運営に関する検討委員会審議結果の報告がありました。

また、同じく10月28日、秋の園遊会にて、大分県町村議会議長会の会長として招待されました。ひとえに皆様方のご協力の賜物と思っております。ありがとうございました。

また、11月10日、玖珠町議会議員研修会を熊本県人吉市で行い、人吉市におけるグリーンツーリズムの取り組みとJR人吉市機関庫の維持管理、現状について研修を行いました。

翌11日には、玖珠町メルサンホールにて、大分県町村議会議長会による議員研修会に参加し、町村

議会議員共済会の飯田 厚副参事の講演があり、地方議会議員年金制度について研修を受けました。

11月17日には、「地域主権改革の実現を目指して」と題して、第54回全国町村議会議長全国大会が東京NHKホールで開催されました。大会では、長引く経済不況や、高齢化、人口減少による岐路に立たされている町村の状況を打破するため、国に対し、全国町村の声に十分耳を傾け、思い切った地域主権改革を求める宣言を採択し、町村財政の強化や議会機能の強化など14項目の決議と4項目の特別決議、23項目の要望、そして9項目の各地区要望を採択いたしました。

最後に、麗澤大学経済学部教授の松本健一氏による「まちの生き死に」と題しまして、特別講演が行われました。

11月19日には、日田玖珠議長会議員研修会・交流会が玖珠町で開催され、新潟県立大学の国際地域学部田口一博准教授による「地域主権と議会運営について」と題した講演があり、今後の議会運営についての研修と3市町の議員交流会が行われました。

以上で議長の諸般の報告を終わります。

日程第4 議案の上程（議案第75号から議案第85号）

○議長（藤本勝美君） 日程第4、議案の上程を行います。

今期定例会に提出されました議案第75号から議案第85号までの11議案について、一括上程したいと思います。異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤本勝美君） 異議なしと認めます。

よって、今期定例会に提出されました議案第75号から議案第85号までの11議案につきましては、一括上程することに決しました。

日程第5 町長の諸般の報告並びに提案理由の説明

○議長（藤本勝美君） 日程第5、町長に諸般の報告並びに提案理由の説明を求めます。

朝倉町長。

○町長（朝倉浩平君） 皆さん、おはようございます。

本日ここに平成22年第6回玖珠町議会定例会を招集申し上げましたところ、議員各位におかれましては、年末何かとお忙しいところにもかかわらず、ご参集を賜りましてまことにありがとうございます。

早いもので、今年も残すところあと1か月を切り、玖珠特有の朝夕の冷え込みが日増しに厳しくなってきました。今年の夏の暑さは何だったか、そういう気がしますし、お彼岸後、急な冷え込みの影響でしょうか、つい最近までもみじ紅葉が楽しめ、例年になく山々を眺める機会が大きくなったような感じがいたします。

さて今日、わが国を取り巻く情勢は、きわめて逼迫しており、9月の尖閣列島での巡視船と中国漁船の衝突事件に端を発した日中関係、そして11月1日ロシア・メドベージェフ大統領の国後島視察、そして11月24日には、北朝鮮の韓国境界線を越えた砲撃、そして11月29日からの、黄海における米韓軍事演習など、近年になく緊張感が高まっております。

外交・国防は国の専管事項でありますが一国民として、こうした憂慮する事態を冷静かつ危機感を持って事の推移を見つめていかなければならないと思っております。

さらにT P Pいわゆる環太平洋戦略的経済連携協定について、民主党政権は検討を表明しておりますが、このことについても農業を基盤とするわが町においては、十分注視していかなければならないと思っております。政府はこのP T Tに参加した場合どの程度の影響が出るか試算してありますが、内閣府、農林水産省そして経済産業省それぞれの試算は全く異なった結果が出ております。結局各省庁が担当業界の利益優先を考慮しているのではないかという報道をされております。十分に国民の利益や国益につながる対策をお願いしたいものであります。そして玖珠町においても、今後農業のあり方を考えなければならぬと考えております。

それでは先の9月定例会以降の町政の諸般の報告と議案の提案理由をご説明申し上げたいと思ます。

まず、文化の日に発令されました秋の叙勲であります。本町から、戸畑の秋吉祐年氏が受賞いたしました。

元玖珠町消防団の団長でありました玖珠町大字戸畑の秋吉祐年氏におかれましては、昭和36年以来、平成16年3月本町消防団長を退任するまでの44年間の長きにわたり地域住民の生命と安全を守るといふ強い責任と使命を全うしたことにより、このたび消防功労者として瑞宝単光賞の荣誉に浴しました。この受賞は、玖珠町にとっても大変名誉なことであり、玖珠町民1万8,000人の皆様と共に喜び申し上げます。

次に第5次総合計画の策定について申し上げます。

第5次総合計画の策定につきましては、昨年度より管理職で組織される策定委員会、係長級で組織される専門部会、住民の代表で組織される総合行政審議会において協議を進めております。策定にあたっては、町民皆様のご意見や現場の意見をしっかりと取り入れながら、現在町が抱える課題、問題点を明らかにしたうえで、住みやすさ、暮らしやすさ、玖珠町の特色をどのように活かしていくかを考えております。そしてまたこの計画を、構想だけで終わらせることなく、具現化できるものにしていきたいと考えております。

現在、たたき台として、基本構想（案）、基本計画（案）を策定しておりますので、これから各審議会での協議をいただきながら策定作業を進めたいと思ます。

また年明け早々には、各地域を回り地域の方々にご説明を申し上げる予定でございます。そして最終的には3月定例会に上程する予定でございますので宜しく願い申し上げます。

次に「まちなか循環バス」及び「ふれあい福祉バス」の運行についてご報告申し上げます。

「まちなか循環バス」につきましては、10月1日から運行を開始し、2か月経過いたしました。利用状況としては、1日に8便運行しておりますが、10月は1便あたり2.2人、11月は2.6人となっております。利用者の皆様方には好評いただいておりますが、残念ながら利用率が大変低く、これからの運営について懸念される状況でございますが、利用促進を図っていきたくて考えております。

次に「ふれあい福祉バス」であります。11月から週1回月曜日に大隈線・山田線を運行し、金曜日には小田線を運行しております。1便あたり2.0人と利用となっております。

次に「戸別所得補償モデル対策」の取り組み状況についてご報告申し上げます。

我が国の農業は、農業従事者の減少・高齢化、農業所得の激減、農村の崩壊など危機的状況にあります。このような中、本年度に戸別所得補償モデル対策が実施され、去る11月8日から5日間、玖珠総合庁舎や九重町役場において同対策交付金の申請受付が行われ、11月15日までの受付分につきましては、12月下旬までに国から直接申請者個人の口座に交付金が振込まれる予定でございます。

現在、両町とJAで組織している玖珠九重地域水田協議会で、この事務処理を行っておりますが、来年度には戸別所得補償制度の本格実施が予定され、その実施体制につきましては、行政（町）が主体性を発揮するといった新たな仕組みづくりが検討されております。どのような体制になるのか、未だ不透明であります。今後の状況を注視し、即応できるようにしていかなければならないと考えております。

次に林道整備についてご報告申し上げます。

現在町内には、林道が40路線ありますが、長年の降雨等により、近年その路面の荒廃が進みまた法面からの落石などが相次ぎ、車両の通行の不備をきたし、森林の整備や作業が困難な状況にあります。こうしたことを改善するため今回、中の原線、宇戸奥村線の舗装工事、これは補助率が50%でございます。と、野平線の法面工事、これは補助率が45%でございますが、総事業費として1億80万円を投入し林道整備を行ってまいりました。今後の森林整備・育成につながると考えております。

次に秋の農業イベントについてご報告いたします。

「第10回カウベルランド里山まつり」についてでございます。

去る10月2日・3日の2日間に、『カウベルランドくす』におきまして、畜産振興に主眼を置く「第10回カウベルランド里山まつり」が開催されました。

本年も、地元の皆様方はもとより、福岡県など他県からの来場者が多く見受けられました。豊後玖珠牛などの野外バーベキュー、ステージイベント、ゲームコーナーともそれぞれ大盛況であり、また、地元出店の各食事コーナーも売り切れになるなど、多くの来場者で賑わいました。

また、11月6日、7日の2日間、玖珠川河川敷特別会場におきまして、「第7回玖珠九重農業祭」が行われました。

2日間とも大変穏やかな好天に恵まれ、郡内外はもとより県外からの多くの参加者も見られ、特に、メルヘン大使の飯森さんや岩崎も多くの方々と一緒に来場していただきました。会場内には各種団体からの多くの出店があり、農畜産物は例年と同様に多くの方から出品をいただいております。実りの秋を

実感できる農業祭であったと思っております。

こうした農業イベントを通じ、今後も本町の畜産をはじめ農業全体の振興とブランド化を図っていきたくと考えております。また、農業関係者のご努力に対して町といたしまして引き続き、支援を行っていきたくと考えております。

6月議会で、中学校再編について今まで凍結解除ということをご認識していただきましたが、次、中学校再編についてご報告申し上げます。

教育委員会は、中学再編の議論を再開したところでございますが、現在、小・中学校に通う児童生徒の保護者の皆さんに意見をお聴きする会を開催しているところでございます。

11月17日から現在まで、山浦中学校、北山田中学校、八幡中学校、森中学校の4校で開催しております。残り3校についても今月22日まで終了する予定です。

意見を聴く会では、児童生徒数のこれまでの推移と今後の予測を説明し、児童生徒数の減少が見込まれる中で、学校の在り方などについて保護者としての様々なご意見や考えをいただいているところであります。また、保護者だけでなく、今後は地域の方々のご意見をいただくよう計画しているところでございます。

こうしたご意見を、これからの中学再編協議に、参考にしていきたくと考えているところでございます。

次に秋の体育行事として、文化行事についてご報告申し上げます。

まず10月4日から8日間の間、町内の小中学校におきまして児童生徒のための、巡回音楽会を開催してまいりました。今年は、バイオリンとチェロの演奏家をお招きしての開催となりました。

また、10月10日には、スポーツ技術の向上と併せて町民の皆様の親睦を目的に、八幡小中学校グラウンドをメイン会場といたしまして第51回玖珠町民体育大会が開催いたしております。多くの選手や町民の皆さんの参加をいただいたところでございます。それぞれの支部でお世話をいただいた役員の方には感謝申し上げたいと思っております。

さらに、11月12日から14日までの3日間、第22回玖珠町美術展覧会が開催され、170点の絵画や日本画、書などの力作が出展されました。

総入場者数は、530人と昨年並みでしたが、訪れた町民の皆様には文化の秋を堪能していただいたんじゃないかと思っております。

12月5日昨日でございますが、大分市において、第23回郡市対抗女子駅伝競走大会が開催され、17郡市16チームにより、6区間、24キロで激走が繰り広げられました。玖珠郡チームは、1時間29分36秒で8位と健闘しております。私も昨日ちょっと応援に行きましたけど、非常に女子の選手が走って、非常に感動的でした。選手の皆さんには、ほんとお疲れ様でした。申し上げたいと思っております。しかしながら、残念なことにこの女子駅伝大会は、諸般の事情によりまして、23年の歴史に幕を閉じ、今回をもって中止することになりました。大変残念であります。選手の皆さんには、これにめげず、日ごろの練習に励み、頑張っていけますよう期待しております。

そして、ほかに12月1日に、全国町村会がNHKホールで開催されました。そして11月10日から30日、大分県のアンテナショップの「坐来」というところで、玖珠フェアで玖珠の椎茸とか豊後玖珠牛を使った玖珠フェアということで、そういう催しも行われました。

最後に日出生台の米軍演習について報告申し上げます。

今回で8回目となります在沖縄米軍海兵隊の実弾射撃訓練が、来月1月から2月に実施されることが既に通知されて、発表されているところでございます。今回の訓練につきましては、九州防衛局から具体的な日程等はまだ示されておりませんが、実弾砲撃演習の分散・実施について、5カ所の演習場を移転先とし、訓練は年間最大4回、合計最大35日以内とする内容となっております。射撃訓練期間訓練に伴う周辺住民の皆様の安全と安心の確保につきましては、これまでと同様に万全を期してまいりたいと考えております。

以上で町政諸般の報告を終わり引き続き、本定例会に提案しております議案の提案理由をご説明申し上げます。

議案集の第1ページ目をお開きください。

議案第75号は、玖珠町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の制定でございます。

本案は、人事行政の運営における公正性・透明性の確保を目的といたしまして、職員の任用、給与、勤務時間、分限、懲戒、服務、研修などや大分県人事委員会からの業務状況の報告等について、町長がその概要を毎年公表するため、条例を制定するものであります。

議案集の3ページ目をお開きください。

議案第76号は、公益的法人等への玖珠町職員の派遣等に関する条例の制定でございます。

本案は、「公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律」により、地方公共団体が、一般社団法人や地方独立行政法人、自治法に規定する全国連合組織などのいわゆる公益的法人に、職員を派遣する場合において必要な条例整備を行うものでございます。

次に第6ページ目をお開きください。

議案第77号は、玖珠町ふれあい福祉バスの設置及び管理運行に関する条例の一部改正でございます。

現在運行しています福祉ふれあいバスの鏡山線について、「町道平川線を運行してもらいたい」という、地元の皆さんの要望を踏まえ、本町の地域公共交通会議で協議してまいりましたが、今回、九州運輸局の認可が下りましたので、条例整備を行うものでございます。

また、これまでの条例で定めておりました、福祉バスの使用者については、今回規則で定めることといたしております。

別冊参考資料の1ページから条例の新旧対照表を記載しておりますのでご覧お願いしたいと思います。

議案集の7ページ目をお開きください。

議案第78号は、玖珠町国民健康保険税条例の一部改正でございます。

本案は、町民の皆さんの税負担を考慮いたしまして、平成18年度以降据え置いてまいりましたが、国

保税の税率につきまして、保険医や議員代表、国民健康保険被保険者の代表などで構成する、国民健康保険運営協議会の慎重なるご審議を賜りまして、国民健康保険制度の健全な継続を目指し、また、国保財政の健全化を図るため今回、国保税率等の改正を行うものでございます。

別冊参考資料の4ページ目から条例の新旧対照表を記載しておりますのでご覧願います。

次に9ページ目をお開きください。

議案第79号は、町道路線の廃止についてであります。

本案は、町道影の木線が、広域農道の工事により、路線の変更が生じるため、既存町道を一旦、廃止するものでございます。

別冊参考資料の7ページ目に地図等がございますのでご参照お願いいたします。

次に10ページ目をお開きください。

議案第80号は、町道路線の認定についてであります。

本案は、先ほどの議案で廃止しました、町道影の木線の再認定を含め3本の町道認定でございます。

まず、町道元畑・本村線でございますが、平成15年度から平成21年度にかけて、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により農道として整備してまいりましたが、今後は町道として維持管理することが適当であるため、町道認定するものであります。

本村・堤旧道線は、同じく特定防衛施設周辺整備調整交付金事業により、本年度バイパス部分が完成し、路線変更が生じたため、旧道部分を再度認定するものであります。

町道影の木線については広域農道工事により、路線変更が生じたため、再認定するものであります。

別冊参考資料の8ページ目から路線地図を掲載しておりますので、ご覧お願いいたします。

次に議案第81号は、平成22年度玖珠町一般会計の補正予算（第3号）であります。

本案は、別冊となっております。議案集の第1ページ目をお開きください。

一般会計補正予算（第3号）は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ6億7,473万1,000円を追加し、歳入歳出それぞれ92億136万2,000円といたすものでございます。

2ページ目をお開きください。

2ページ目の第1表歳入歳出予算補正であります。歳入につきましては、地方交付税、国庫支出金、繰入金が主なものになっております。地方交付税は、普通交付税の決定に伴い、その一部である1億1,598万7,000円の増額計上であり、補正後の額は29億2,898万7,000円であります。

国庫支出金は、総合運動公園建設事業等の追加事業費計上により3億8,406万8,000円の増額となり、補正後の額は17億6,471万5,000円であります。

3ページ目をご覧ください。

繰入金は、総合運動公園建設事業等の追加事業費計上によりまして、2億3,938万8,000円の増額となり、補正後の額は、4億8,858万7,000円となっております。

4ページ目をお開きください。

4ページ目の歳出につきましては、民生費、土木費、教育費などが主なものとなっております。民

生費は、子ども手当給付費の支給見込減額などによりまして、3,472万1,000円の減額となっております。補正後の額は、19億3,084万6,000円となっております。

5ページ目をご覧ください。

土木費につきましては、総合運動公園建設事業、国の補正予算に伴う社会資本整備総合交付金事業等の追加などにより5億7,395万5,000円を増額しまして、補正後の額は13億5,850万8,000円となっております。また教育費については、特防（日出生地区プール改修）事業などによりまして9,932万円を増額し、12億8,190万7,000円となっております。

7ページ目をお開きください。

7ページ目の第2表地方債補正につきましては、北山田小学校舎危険改築事業などの財源組替などの減額によりまして、減額の変更を行うものでございます。

続きまして歳入歳出補正予算事項別明細書の歳入の補正について、主なものについてご説明を申し上げます。

予算書の9ページ目であります。

まず歳入では、地方交付税、国庫支出金、繰入金が主なものでございます。

11ページ目をお開きください。

11款1項1目、地方交付税1億1,598万7,000円につきましては、普通交付税の決定に伴い、その一部を計上したものでございます。

12ページ目をお開きください。

15款1項1目、民生費国庫負担金8,424万1,000円の減額につきましては、子ども手当支給対象者数の見込減などにより国庫負担額の減額を計上したものでございます。

15款2項1目、総務費国庫補助金1億1,550万円の増額につきましては、米軍実弾射撃訓練の実施予定に伴う特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額及び国の補正予算による緊急総合経済対策に伴う地域活性化・きめ細やかな臨時交付金事業の計上でございます。

15款2項7目、土木費国庫補助金2億9,260万6,000円の増額については、国の補正予算に伴う社会資本整備総合交付金事業の実施及び総合運動公園建設事業の補助金等の追加交付などによりまして増額計上するものでございます。

13ページ目をご覧ください。

15款2項9目、教育費国庫補助金につきましては、北山田小学校舎危険改築事業の交付金増額によりまして、5,976万円を計上したものでございます。

15ページ目をお開きください。

19款1項1目、繰入金2億3,938万8,000円の増額につきましては、総合運動公園建設事業の追加事業実施に伴い、町負担額を基金繰入を行うものでございます。

16ページ目をお開きください。

22款1項8目、教育債につきましては、国庫補助金の増額に伴い、町債を減額することによる財源

組替を計上したものでございます。

また、22款1項10目、臨時財政対策債につきましては、発行可能額の確定より4,900万円を減額するものでございます。なお、減額部分につきましては、普通交付税において増額措置されており、今回、臨時財政対策債の発行額を減額し、普通交付税を増額計上することにより一般財源総額を確保したところでございます。

次に歳出であります。17ページ目をお開きください。

歳出の補正につきましては、総合運動公園建設事業、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業、国の補正予算による緊急総合経済対策事業などが主なものでございます。

2款1項1目、一般管理費498万9,000円の減額につきましては、人事院勧告による職員人件費の減額などが主なものとなっております。

18ページ目をお開きください。

2款1項6目、電子計算費474万3,000円の減額につきましては、情報系システム導入事業の事業費確定による減額等になっております。

20ページ目をお開きください。

2款4項4目、大分県知事、県議会議員選挙費414万4,000円につきましては、平成23年度に実施されます地方選挙の平成22年度執行分について予算計上を行ったところであります。

21ページ目をお開きください。

3款1項3目、障害者福祉費1,378万6,000円につきましては、障害福祉サービス介護等給付費の増額等を計上したものでございます。

3款1項6目、国民健康保険事業費2,087万2,000円につきましては、国保財政安定化支援事業繰出金等の計上したものでございます。

22ページをお開きください。

3款3項2目、児童措置費2,107万8,000円の増額は、児童措置費の増額を予算計上したものでございます。

3款3項5目、子ども手当費9,977万5,000円の減額は、子ども手当支給見込額の減額等によりまして計上するものでございます。

23ページをご覧ください。

4款1項4目、給水施設整備事業費485万3,000円につきましては、飲料水給水施設整備事業補助金の対象地区追加により増額を計上したものでございます。

24ページ目をお開きください。

5款1項1目、労働費1,501万7,000円は、緊急雇用創出事業の追加事業等を予算計上したものでございます。

6款1項11目、特定防衛施設周辺整備事業費451万9,000円は、特防（古後井路水門改修）事業の追加事業を予算計上したものでございます。

25ページ目をご覧ください。

7款1項3目、観光費455万3,000円の増額は、三島公園内における池の泥撤去事業における予算を計上したものでございます。

26ページ目をお開きください。

8款2項2目、道路新設改良費3,255万6,000円につきましては、国の補正予算に伴い、社会資本整備総合交付金事業（町道辰ヶ鼻～新町線補修事業）等の予算計上によるものでございます。

27ページ目をご覧ください。

8款2項5目、特定防衛施設周辺整備事業費2,878万3,000円の増額につきましては、特防（浦河内線・横道線）事業における事業費追加等によるものでございます。

28ページをお開きください。

8款4項3目、総合運動公園建設事業5億1,232万3,000円につきましては、社会資本整備総合交付金及び民生安定事業補助金の追加交付により、建設事業費の追加を計上するものでございます。

30ページ目をお開きください。

10款1項4目、教育向上対策費350万円は、国の補正予算に伴い、学校図書館環境整備事業等を予算計上したものでございます。

31ページ目をご覧ください。

10款2項1目、小学校管理費5,530万7,000円は、特防（日出生地区プール改修）事業等を予算計上したものでございます。

10款4項1目、幼稚園総務費2,130万1,000円につきましては、国の補正予算に伴い、きめ細かな臨時交付金事業（幼稚園環境整備事業）等を予算計上したものでございます。

33ページ目をお開きください。

10款5項6目、自治公民館建設事業費1,100万円につきましては、特防（宇戸自治公民館改修）事業を予算計上したものでございます。

34ページ目をお開きください。

10款6項5目、体育施設費607万6,000円につきましては、特防（河川敷公衆用トイレ整備）事業の測量・実施設計等を予算計上したものでございます。

以上が一般会計補正予算（第3号）の主なものでございます。

次に議案第82号は、平成22年度玖珠町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）であります。

本案は別冊となっております。

議案集第1ページをお開きください。

国民健康保険事業特別会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億787万7,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ22億4,943万8,000円とするものでございます。

今回の補正は、療養給付費及び高額療養費の増加が見込まれますので、その財源といたしまして高

額療養費共同事業交付金や国民健康保険基金などを充てるものでございます。

以下詳細についての説明は、省略させていただきます。

次に議案第83号は、平成22年度玖珠町介護保険事業特別会計補正予算（第3号）であります。

別冊となっております。

本案は、既定の歳入歳出予算総額には変更ありません。

3ページ目をお開きください。

歳出において、2款保険給付費の1項、介護サービス等の諸費の1,650万円の減額、4目の高額介護サービス費等の1,150万円の増額補正など、本年度の給付見込みから、それぞれ組み替えを行ったのが主たる原因でございます。

以下詳細についての説明は、省略させていただきます。

次に議案第84号は、平成22年度玖珠町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）であります。

別冊となっております。

議案集1ページ目をお開きください。

後期高齢者医療事業特別会計補正予算は、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,880万2,000円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ1億8,686万1,000円とするものでございます。

主な内容は、後期高齢者医療制度へ加入し新たに保険料を負担することとなった方への軽減措置が延長されることにより、歳入で保険料の減収とそれに伴う繰入金が増額、一般歳出における保険料負担金の減額などが主たる補正の要因でございます。

以下詳細についての説明は、省略させていただきます。

次に議案第85号は、平成22年度玖珠町水道事業会計補正予算（第2号）であります。

別冊となっております。

議案書第1ページ目をお開きください。

今回の補正は、収入の第1款の事業収益を49万9,000円増額し、計1億6,045万円とし、さらに支出の第2款では事業費を176万1,000円減額し、計1億5,819万円とするものであります。

以下詳細についての説明は、省略させていただきます。

以上、条例の制定をはじめ合計11議案の提案理由をご説明申し上げました。

また、本定例会の会期内には、追加議案を提出させていただく予定でございます。

議員の皆様におかれましては、なにとぞ慎重にご審議の上、ご承認を賜りますようお願い申し上げます。町政諸般の報告並びに提出議案の説明を終わらせていただきます。どうぞよろしく、お願いいたします。

○議長（藤本勝美君） 町長の諸般の報告並びに提案理由の説明を終わります。

日程第6 請願並びに陳情の上程（請願2件、陳情4件）

○議長（藤本勝美君） 日程第6、請願並びに陳情の上程を行います。

お手元に配付してあります文書表のとおり、請願2件、陳情4件が提出されています。

これを上程したいと思います。異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤本勝美君） 異議なしと認めます。

よって、請願2件と陳情4件は上程することに決しました。

ここで、請願第6号について紹介議員の説明を求めます。

紹介議員11番江藤徳美君。

○11番（江藤徳美君） おはようございます。請願を説明いたします。

「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」に基づく保育制度に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書の提出に関する請願書

紹介議員 江藤徳美

件名

「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」に基づく保育制度に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書の提出に関する請願書

要旨

「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」に基づく保育制度に反対し、現行保育制度の拡充を求める意見書を国に提出していただきたい。

理由

国においては、国や市町村の保育責任を大幅に後退させ、保育を産業化するような「子ども・子育て新システムの基本制度案要綱」に基づく制度改革を進めようとしているが、子ども達の健やかな成長のため児童福祉法第24条に基づく公的保育制度を堅持・拡充をしていただきたい。

平成22年11月24日

玖珠町議会議長

藤本勝美殿

住所 大分県玖珠郡玖珠町戸畑2858番地

氏名 大分県認可私立保育園玖珠町保育協会

会長 松本耕造

以上です。

○議長（藤本勝美君） 次に、請願第7号について、紹介議員の説明を求めます。

紹介議員1番佐藤左俊君。

○1番（佐藤左俊君） おはようございます。

環太平洋パートナーシップ（ＴＰＰ）協定交渉への参加反対に関する意見書の提出を求める請願書

紹介議員 佐藤左俊

環太平洋パートナーシップ（ＴＰＰ）協定交渉への参加反対に関する意見書の提出を求める請願書

1 要旨

政府は現在、環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）交渉への参加の是非を決定するため、関係国との協議を開始しています。

ＴＰＰ交渉は例外品目を認めず、10年後にはほぼ全ての分野での関税の完全撤廃が原則とされることから、この協定に参加した場合、国内農業・農村が壊滅的な打撃を受けることは明らかであり、生産者は将来の農業経営に大きな不安を抱えています。

つきましては、政府に対し、環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）交渉には参加しないよう、地方自治法第99条の規定に基づき、国の関係機関へ意見書を提出していただきますよう、地方自治法第124条の規定によりお願いいたします。

2 主旨及び理由

政府は本年3月に今後のわが国農業・農村施策の基本となる「食料・農業・農村基本計画」を定め、農業・農村の振興に取り組みを開始したにも係らず、11月9日に「包括的経済連携に関する基本方針」を閣議決定し、環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）交渉への参加の可否を決定するため関係国との協議を開始しました。

周知のように環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）交渉は例外品目を認めず、10年後にはほぼ全ての分野で関税を完全に撤廃することが原則とされており、農林水産省が公表した試算では、国境措置を撤廃すると、国内の農業総産出額が4兆1,000億円減少し、自給率も現在の40%から14%へと大きく減少するとしています。また、農林水産省の試算に基づき本県の影響を試算すると県内農業総産出額は40%減少し、農地の約6割が放棄されかねない状況に追い込まれます。そして、このような大きな影響によって、農村部を中心に地域社会もまた崩壊することは明らかであります。食料の安全保障とともに、地下水の涵養や洪水の防止などの多面的機能もまた失われます。

このため政府は、農業構造改革推進本部（仮称）を設置し、競争力の強化をはかるとしていますが、米国やオーストラリアの一農場当たりの経営面積はわが国の農家と比べ数十から数百倍もの格差があり、これらの国と同等の競争力を確保することは不可能であります。

よって議会におかれましては、次の通り環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）交渉への不参加について政府に働きかけを行っていただきたい。

- (1) 環太平洋経済連携協定（ＴＰＰ）交渉は、国内農業や地域社会に壊滅的な影響力を与えるのみならず、食料危機が懸念される中で国民生活にとっても取り返しのつかない事態に招来しかねず、交渉には参加しないこと。
- (2) 今後の農産物貿易交渉にあたっては、これまでのWTO農業交渉における「多様な農業の共存」を基本理念として堅持し、食料・農業・農村基本計画と整合性をもって交渉を行うこと。

平成22年11月26日

玖珠町大字帆足357番地の1

玖珠九重農業協同組合

代表理事組合長 衛 藤 俊 弘

玖珠町議会議長

藤 本 勝 美 殿

日程第7 委員会の継続審査結果の報告並びに委員長報告に対する質疑

○議 長（藤本勝美君） 日程第7、委員会の継続審査結果の報告並びに委員長報告に対する質疑を行います。

基地対策特別委員会の報告を求めます。

基地対策特別委員会委員長佐藤左俊君。

○基地対策特別委員長（佐藤左俊君） 基地対策特別委員会報告（閉会中）

平成22年第4回玖珠町議会定例会において、基地対策特別委員会に閉会中の継続審査の付託を受けた件につきまして、その結果を報告します。

11月12日に執行部出席のもと、基地対策特別委員会を開催しました。

1、榴弾破片飛散事案について

8月21日に203mm榴弾砲訓練が再開され、8月24日に訓練に伴う安全対策の説明に再度、西部方面総監部が来庁されたとの報告がありました。

町としては、9月20日に開催された地区敬老会の中で、訓練再開までに至る経緯の説明と、今後も相愛会地区が要望している「移転区域の指定」に向けて国に働きかけをしていくことの報告を受けました。

委員より、自衛隊の方から203mm榴弾砲訓練ができなければ、別の演習場での訓練となり費用等が増大することから、再開ができたことに感謝しているとの報告がありました。

なお、11月13日に20H実射説明会が開催され、委員会で参加をいたしました。

2、在沖縄米海兵隊実弾射撃訓練について

平成22年度の実弾射撃訓練計画は、平成23年1月中旬から2月上旬となっているが、現在までの射撃訓練が矢白別演習場、東富士演習場で10日間実施されていること、王城寺演習場での訓練が11月22日から12月3日までの内の10日間実施される予定であり、3演習場で10日間ずつ計画どおり射撃訓練が実施されれば合計30日間となり、年間射撃訓練日数が最大35日間となっていることから、日出生台演習場での射撃訓練日数は5日程度になるのではないかとの報告を受けました。

訓練計画の詳細については、連絡を受けていないが、実施されるものとして準備を進め、対策

本部を設置するとともに、関係機関と連携を取り町民の不安解消と安全対策に取り組んでいきたいとの報告がありました。

委員からは、安全対策について充分配慮してほしい等の意見がありました。

3、その他について

大分県選出の国会議員に対して、基地交付金と調整交付金の確保を求める要請書の提出、日出生台演習場周辺施設整備期成会の評議員研修会への参加など、前回の委員会終了後からの報告を受けました。

委員会としては、基地問題の対応について執行部とともに、問題解決に向けて努力することを確認し、本委員会は引き続き継続審査とすることに決定をいたしました。

○議長（藤本勝美君） 基地対策特別委員会委員長報告に対する質疑はありませんか。

（なし）

○議長（藤本勝美君） 質疑なしと認めます。

基地対策特別委員会委員長報告に対する質疑を終わります。

次に、高校再編問題特別委員会の報告を求めます。

高校再編問題特別委員会委員長日隈久美男君。

○高校再編問題特別委員長（日隈久美男君） 高校再編問題特別委員会報告（閉会中）

平成22年第4回玖珠町議会定例会において、高校再編問題特別委員会に閉会中の継続審査の付託を受けた件につきまして、その結果を報告します。

平成22年10月12日と11月19日に特別委員会を開催し、執行部出席のもと「6者協議」について協議を行いました。

これまでの経過について、ご説明申し上げます。

① 平成21年6月1日、6者協議を九重町役場にて開催し、今後の活動に向け協議を行った結果、陳情より重い「請願」の提出を決定しましたが、議員に請願権がないことが後に判明し、6者協議（議会）からの請願活動ができないため、6者協議に代わる高校再編の打開策として、平成21年7月16日、『(仮称)玖珠郡高校教育を考える会』発足に向けた7者協議（両町長、両教育長、両議会、郡PTA）の開催を決定いたしました。

② 平成21年8月18日、「高校再編玖珠郡関係者意見交換会」を開催。両町6者と郡PTA役員で実施しましたが、校地問題で差異があり（議会側～校地問題・郡PTA側～校地問題でなく魅力ある高校づくりを提案）了解点に達せず、『(仮称)玖珠郡高校教育を考える会』発足に向けて、両町議会事務局と郡PTAで調整していくこととなりました。

③ 平成22年2月19日、特別委員会としては、今後は、『考える会』において、『将来にわたって玖珠郡に高校をのこすための方策の検討』を行い、特別委員会では、『考える会』が示した方策について調査検討、意見をしながら方向性を確認し、最良の高校再編となるよう玖珠町民の総意を意見書としてまとめ、県へ提出する準備を行っていくことを確認しました。

- ④ 平成22年3月17日、『玖珠郡高校を考える会』の準備会及び第1回会合を開催し、名称の決定、役員選出、今後の取組みについて協議、6月にシンポジウムの開催を決定しました。

平成22年6月20日、「両高校のここ数年の定員割れの実態と今後の推移」を研究課題に、校地には触れない、魅力ある高校づくりのための「玖珠の高校を考えるシンポジウム」を開催し、玖珠郡としての取り組む方向性について参集した玖珠郡民450名との意見の一致をみました。

6者協議の対応について

委員会は、これまでの経過報告を受け協議した結果、6者協議の対応として『玖珠郡高校を考える会』もしくは『玖珠郡PTA連合会』が示す方策に基づく結論をもって精査、請願行為となることから、議会側としては『考える会もしくは郡P連』の側面支援としての「意見書の提出」を準備していくこととなり、当面は6者協議としての取り組みはないが、将来予測できないことも生じてくる可能性（1校存続も危うい状況）もあることから、6者協はこのまま継続していくことが望まれるとの結論になりました。

委員会としては、高校再編問題の対応について、執行部並びに『考える会』とともに問題解決に向けて努力することを確認し、本委員会は引き続き継続審査とすることに決しました。

- 議長（藤本勝美君） 高校再編問題特別委員会委員長報告に対する質疑はありませんか。

2番尾方嗣男君。

- 2番（尾方嗣男君） この②の中ですね、校地問題で両町で差異があるということは、どういうことで玖珠と九重町が違うんでしょうか。どういう意味で違うんでしょうか。お聞きしたいと思います。

- 議長（藤本勝美君） 委員長。

- 高校再編問題特別委員長（日隈久美男君） 以前これは報告してありますけど、玖珠郡といたしまして、6者協といたしましては、前、九重町はまだ、いまだに校地問題ということで方向性を示しておりましたので、私たちとしましては、もうここに至っては、校地問題でなく、高校をどう守るかという点について検討していかなくてはいけないということで、これまでやってきております。

- 議長（藤本勝美君） 2番尾方嗣男君。

- 2番（尾方嗣男君） 私も前は高校再編におったんですけど、その時点では、県教委の方は校地はもう決まってるんだという報告を受けて、いまだに校地がどうのこうのという問題を他の議会の方でやるちゅうのはおかしいんじゃないかなと。一本にまとめていただいてやらないと、要するに高校に入学する人も落ち着かないと思うんですよ。未だに宙に浮いてるから、やはり生徒の減少、いろんなものが起きてくるんじゃないかなと思っておりますので、その辺ははっきりやっていただきたいなと思っております。

- 議長（藤本勝美君） 委員長。

- 高校再編問題特別委員長（日隈久美男君） その点につきましては、玖珠町の高校再編特別問題といたしましては、校地は完ぺきに1校、玖珠高で現状でより良い学校をつくるということで取り組んで

おります。九重町につきましては、高校再編問題特別委員会につきましては、深くは分かりません。

○議長（藤本勝美君） ほかに質疑はありませんか。

（なし）

○議長（藤本勝美君） 質疑なしと認めます。

高校再編問題特別委員会委員長報告に対する質疑を終わります。

次に、道の駅・運動公園調査検討特別委員会の報告を求めます。

道の駅・運動公園調査検討特別委員会委員長松本義臣君。

○道の駅・運動公園調査検討特別委員長（松本義臣君） 道の駅・運動公園調査検討特別委員会報告（閉会中）

平成22年第4回玖珠町議会定例会において、道の駅・運動公園調査検討特別委員会に閉会中の継続審査の付託を受けた件につきまして、その結果を報告します。

11月12日執行部出席のもと、第15回特別委員会を開催しました。

1. 道の駅について

① 経過について

9月 1日 直売組合総会

9月 3日 直売所自動ドア取付工事

10月 9日 しいたけ祭り（玖珠農高・石突バーガー販売）

～11日 ブランド協議会豊後牛試食・餅つき等
を行いました。

10月30日 福岡市「ありがとう水」イベント出店
～31日

11月 9日 山口県田布施町議会経済厚生委員会が視察
その他 随時レストランメニューの開発ほか

② 平成22年4月から10月までの運営状況

レジ通過者数は約17万6,512人、売上概算額は1億5,701万2,000円です。又、道の駅従業員数は、正社員7名、準社員8名、パート14名での運営であります。

今後の取り組みについては、地域住民参加型のイベント企画やスタッフの人材育成、教育、視察研修等を行っていきたい。今後パンコーナーの施設拡張を検討したいとの報告を受けました。

主な意見として、農業指導員の役割や冬季営業時間、特に閉店時間について午後6時にできないか、又パンコーナーの施設拡張などの質問がございました。

農業指導員については、月の半分勤務、店内業務や各地域へ営農指導を行っている。閉店時間は、秋の紅葉シーズンもあり週末は5時30分まで延長したい。又パンコーナーについては、どのように行うかは今後検討していくが、技術的な人材育成を図りたい。とのことであります。

2. 総合運動公園の進捗状況について

平成22年度工事発注及び工事概要を玖珠町のホームページに入札結果を掲載する。又今後の事業スケジュールについて、平成23年度に陸上競技場、多目的グラウンド、テニスコートが完成、公園の一部を着工、平成24年度は野球場を着工し、平成25年度には全て完成する。しかし、国の補助事業の動向によっては、変更もありますとの報告を受けました。

意見として、国の補助事業の動向が一番心配されるが、補助金等県を通じ要請を行っていただきたい。又前倒し工事等できるものがあれば、受け入れを行い一日も早い完成が望まれる。又次期議会中に現場視察を実施したい等の意見、要望がありました。

本委員会としては、道の駅・運動公園建設に関する諸問題を調査検討し、問題解決のため引き続き継続審査とすることに決しました。

以上です。

○議長（藤本勝美君） 道の駅・運動公園調査検討特別委員会委員長報告に対する質疑はありませんか。

13番日隈久美男君。

○13番（日隈久美男君） 13番日隈です。

道の駅・運動公園調査の委員でございますけど、一言要望したいと思います。先日からの委員長報告の中にございますように、委員会としては、12月からの終業時間を少しでも下げていただけないかというような要望をしたところ、やはりまた12月1日から5時になっております。そして、週末日曜日は5時半ということで、これは新たな展開じゃないかと思っておりますけどですね、委員会の助言が生かされてないと、これからもこういう問題が数多く出てくるんじゃないかと思っておりますので、これからも委員会の要望は要望なりに、またそこでいろいろ精査していただきたいと思っておりますので、要望いたします。

○議長（藤本勝美君） 特別委員長。

○道の駅・運動公園調査検討特別委員長（松本義臣君） 今の問題につきましては、担当課を通じ、そういう意見があったということをお伝えをしたいと思います。

○議長（藤本勝美君） ほかにありませんか。

（なし）

○議長（藤本勝美君） 質疑なしと認めます。

道の駅・運動公園調査検討特別委員会委員長報告に対する質疑を終わります。

以上で継続審査の報告並びに委員長報告に対する質疑を終わります。

以上をもちまして、本日の日程はすべて終了しました。

お諮りいたします。

明日7日は休会、明後日8日は議案質疑といたしたいと思っておりますが、異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（藤本勝美君） 異議なしと認めます。

よって、明日7日は休会、明後日8日は議案質疑とすることに決しました。

本日はこれにて散会いたします。

ご協力ありがとうございました。

午前11時22分 散会

地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成22年12月6日

玖珠町議会議長

署名議員

署名議員